

2016年6月20日

テルモ、米国のシークエント社(Sequent Medical, Inc)の全株式を取得

<テルモ(株)は、脳動脈瘤治療の米国シークエント社(Sequent Medical, Inc)を買収>

シークエント社(Sequent Medical, Inc)は、脳動脈瘤治療の新たな選択肢として期待される新形状塞栓デバイスを開発し、世界で初めて製品化を実現。2010年には、欧州でCEマーク認証を取得し、既にドイツ、イギリスなどで販売を開始しており、米国での販売開始に向けた治験を他社に先駆けて実施している。

シークエント社が開発している新形状塞栓デバイス「WEB」は、脳動脈瘤の塞栓術治療に使用されるもの。シークエント社独自の技術により、形状記憶合金が細かく編み込まれており、専用のカテーテルを通して脳動脈瘤に留置されることで、瘤内への血液の流入を抑える。既に販売されている欧州を中心とする地域では、WEBの形状と取扱いの簡便さから、破裂した脳動脈瘤の緊急手術や、既存の塞栓術では治療が難しいとされる血管分岐部に瘤がある「分岐部病変」、瘤の入口部が広い「ワイドネック型」などの症例においても使用されており、脳動脈瘤治療の新たな選択肢として期待されている。

毎年拡大を続ける脳血管内治療市場

脳血管内治療市場は毎年拡大しており、2018年には約3000億円規模になると見込まれている。中でも、脳動脈瘤治療に使用される新形状塞栓デバイスは、大きな市場拡大が期待されている。テルモは、脳血管内治療を重要な成長領域と捉え、2006年の米国のMicroVention, Inc.(マイクロベンション社)買収により市場に参入。以降、脳動脈瘤治療に使用する塞栓コイルと、関連するカテーテルやステントを中心に製品ラインアップを揃え、グローバルで事業を拡大している

以上